Embassy
of the Republic of Poland
in Tokyo

ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

POLAND+JAPAN

2020 年 11 月 12 日　東京

プレスリリース

「クラクフ　ドラゴンとドラゴン」展

2020 年 11 月 14 日～2021 年 1 月 24 日、すみだ北斎美術館（東京都墨田区亀沢 2 丁目 7 番 2 号）において、「クラクフ　ドラゴンとドラゴン」展が開催されます。これは、2019 年にすみだ北斎美術館と日本美術技術博物館マンガの間で調印された、友好協力協定の成果です。

昨年、ポーランド・日本国交樹立 100 周年を機に、クラクフで、ヴァヴェル城のドラゴンとゴジラが主役の「東京　ドラゴンとドラゴン」展が開催されました。クラクフを描き出す本年の東京エディションでは、日本の画家であり木版画作者であった北斎の作品などに刺戟を受けた、ポーランド人アーティスト 6 名の 48 作品が展示されます。

すみだ北斎美術館とポーランド広報文化センターの協力は、数年前から継続しています。一例として挙げられるのは、例えば、2018 年 11 月 11 日のシロンスク四重奏団の演奏会です。これは、ポーランドの独立回復 100 周年を祝賀するために、ポーランド音楽出版所が準備したイベント「100 年の 100 曲――自由の音楽 10 年×10」の一つでした。演奏会と同時に、ポーランド文化とポーランド独立回復についてのパネル展示が行われました。

この他、両博物館とポーランド共和国大使館及びポーランド広報文化センターの協力の一環として、すみだ北斎美術館では、ポーランド・日本国交樹立 100 周年を記念してマンガ博物館が準備した展示「ポーランドと日本」が開かれました。

日本美術技術博物館マンガは、アンジェイ・ワイダの主唱により設立され、1994 年に日本美術技術センターマンガとして開館しました。最初の 10 年間は、クラクフ国立博物館分館でした。2005 年に文化大臣の決定により独立、国立文化機関の地位を獲得し、2007 年からは博物館として活動しています。

基金提供者たちの意志に従い、マンガは、主に、フェリクス・「マンガ」・ヤシェンスキによって収集され、1920 年からはクラクフ国立博物館に収蔵されていた、「日本美術コレクションのための家」となることを目指しました。クラクフ国立美術館の極東美術収蔵品は、2009 年に最終的に、マンガ博物館に保管されることになりました。今日博物館は、ポーランド・日本の友好の記念碑の役割を果たし、そこでは、伝統的・現代的な日本美術・文化を広く紹介するイベントが催されます。当機関は、皇族など貴賓の方々が訪問されています。2002 年には天皇皇后両陛下、2019 年には秋篠宮皇嗣同妃両殿下がご訪問になりました。

「クラクフ　ドラゴンとドラゴン」展についての情報は、ポーランド広報文化センターのインターネット・ページに掲載されています―― https://instytutpolski.pl/tokyo/krakow-smok-i-smok-jp/（日本語）

どうか博物館をお訪ねになり、クラクフの博物館が準備した展示をご覧になってください。同展と同時に、常設展示、そしてもう一つの特別展示「GIGA・MANGA　江戸戯画から近代漫画へ」（2020 年 11 月 25 日～2021 年 1 月 24 日）が催されています。

文責：ポーランド広報文化センター

駐日ポーランド共和国大使館

https://www.gov.pl/web/japonia/ambasada

tokio.amb.sekretariat@msz.gov.pl

Twitter: @PLinTokyo

Facebook:

https://www.facebook.com/Ambasada-RP-w-Tokio

ポーランド広報文化センター

https://instytutpolski.pl/tokyo/

tokio@instytutpolski.org

Twitter: @PLInst_Tokyo

Facebook:

https://www.facebook.com/InstytutPolskiTokio/